Close-up

あらBOSAI2025開催！

防災の知識や技術を体感・体験して楽しく学べる「あらBOSAI2025」を開催します。ここでしかできない体験もたくさんあります。ぜひ、参加してみよう！

日時／3月2日(日)午前10時～午後2時
会場／東尾久運動場多目的広場(東尾久7-1-1)
[問合せ]防災課☎内線418

▲昨年度の様子

「干支芝アート」が完成しました！

宮前公園の芝生広場に、今年の干支「ヘビ」をモチーフにした「干支芝アート」を作りました。デザインは、宮前公園内の尾久図書館を利用している方々に投票で選んでもらいました。冬でも緑色の葉を保つ芝で作ったヘビは、2月中旬まで見ることができます。ぜひ、行ってみてくださいね。

[問合せ]土木管理課☎内線2752

▲皆さんから選ばれたヘビのアート

俳句○×クイズの答え

A1 ○ 仲間と行く「吟行」は、俳句の楽しみを広げます。歩きながら話し合ったことが俳句の種になることもあります。吟行のあとは、「句会」を開いて発表し合いましょう。

A2 × 江戸時代の松尾芭蕉や明治時代に活躍した正岡子規が有名ですが、今も多くの人が俳句に親しんでいます。現在は、日本だけでなく、世界で広く各国の言葉で作られています。

A3 × まず、季語を学ぶことが基本です。一句の中に季語を一つにするのがよいですが、季語が二つ入る「季重なり」や、季語を使わない「無季俳句」もあります。

荒川区子ども議会での皆さんの声を区の取り組みに生かしています！

区では、子どもの意見を区の取り組みなどに反映させ、子どもたちが安心して暮らせるまちづくりを進めるために、区立中学校10校の生徒20名が「子ども議員」となり、区へ提案を行う「子ども議会」を開催しています。

▶子ども議会の様子が見られます。(「こんにちは荒川区」ウィークリーニュース)

区の取り組みに生かしている提案の一部をご紹介します

令和5年度 第四中学校子ども議員の提案

中学生対象の環境学習プログラムを実施してほしい

▲プロギングの様子

中学生が参加できるイベントとして、AIを利用した生き物図鑑づくりやジョギングをしながらごみ拾いをするプロギング、環境講演会、森林体験ツアーなどを開催しました。

令和6年度 尾久八幡中学校子ども議員の提案

中高生の目に留まる魅力的なチラシなどを作り、気軽に利用できるふれあい館のPRをしてほしい

中高生がふれあい館を利用したくなるようなチラシ作成に取り組んでいます。そのほか、SNSでの情報発信もしています。

▲中高生向けチラシ

ようこそ！

吉村昭記念文学館 ～吉村昭と文学の魅力～ vol.2

[問合せ]吉村昭記念文学館 ☎(3891)4352

『雪の花』の舞台である福井県は、妻(津村節子さん)の出身地だよ。

▲雪の花(新潮文庫刊)

吉村昭『雪の花』原作の映画公開中!!

映画「雪の花 ―ともに在りて―」

吉村昭『雪の花』(昭和63年、新潮文庫刊)が小泉堯史監督により映画化されたよ。主演は松坂桃李さん。芳根京子さん、役所広司さんなども出演するよ。1月24日から全国公開され、絶賛上映中だよ。小泉監督は、「博士の愛した数式」などを制作した方で、昨年の7月に吉村昭記念文学館にも来てくれたんだ。

▲「雪の花 ―ともに在りて―」
©2025映画「雪の花」製作委員会

▲吉村昭記念文学館に訪れた小泉監督

小説『雪の花』 『雪の花』は、江戸末期に活躍した福井の町医者・笠原良策を主人公とした作品だよ。良策は、当時、死の病として恐れられた疱瘡(天然痘)から福井の人々を救うため、種痘(予防接種)の普及に力を尽くしたんだ。しかし、予防接種が珍しかったこの時代、医者ですらその効果を疑い接種する人はわずかで、種痘はいっこうに広まらなかった。でも、良策は絶対にあきらめず、同じ志を持つ人とともに奮闘したんだよ。

吉村は、良策に対して「種痘の普及につとめた精神力の強靭な人物」で「生き方にひかれた」と書いているよ。

映画公開記念特集展示開催中！ 現在、吉村昭記念文学館では、映画公開を記念して、特集展示 原作:吉村昭『雪の花』「雪の花 ―ともに在りて―」展を開催中だよ。展示では、小説『雪の花』の自筆原稿や自筆メモ、関連作品などを紹介しているよ。また、映画の撮影で使用された衣装や小道具、映画の場面写真を展示しているほか、映画予告編やメイキング映像を見ることもできるんだ。3月16日まで開催しているので、ぜひ、見に来てね。

映画や展示を観たあとには、小説『雪の花』も読んでみてね。

リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
R70 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用